

働くことの意義とは

—東京都墨田区立両国中学校で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今週の6月4日(火)は、東京都墨田区立両国中学校にお招きいただき、1時間にわたって「職業人の講話」をしてきました。20名ぐらいの生徒さんからいろいろな質問を予めいただきましたので、今朝の「開倫塾の時間」では、今の中学生が職業人である私たちにどのようなことを尋ねたのか、質問の内容について少し御紹介させていただきます。この放送をお聴きの皆様も、小学生・中学生・高校生からの質問に答えていただいて、「働く意味」や「仕事に向き合う姿勢」などについてぜひ教えていただけると有難いなと思います。
3. いろいろな御質問がありましたが、まとめてみると、一番多かったのは「あなたは、どんな仕事をしているのですか」でした。私は開倫塾という学習塾の塾長で、株式会社という形になっていますので社長をさせてもらっていますと答えました。また、2004年～2010年の6年間は、マニー株式会社という手術用の縫合針をつくっている会社で社外取締役をしておりましたので、海外展開をしている製造業についてのお話もさせてもらいました。マニー株式会社は宇都宮に本社がありますが、ハノイ(ベトナム)、ヤンゴン(ミャンマー)、ビエンチャン(ラオス)にも現地法人をもっていますので、世界の方々と一緒にお仕事をしていることもお話しました。そして、足利市にあります特別養護老人ホーム清明苑では、20年近く理事をさせてもらっていますので、介護のお話もさせてもらいました。特別養護老人ホームでは、非常に多くの職員がお年寄りのよりよい生活のために仕事をしていることもお話しました。このように、仕事にはサービス業もあり製造業や介護などもあることをお話すると、様々な仕事があることを認識する一つの手掛かりになるようです。
4. 学校では英語検定や漢字検定を取るようには勧められていますので、「そのほかに、仕事をするときに役に立つ資格はありますか」ということが質問として寄せられました。私は栃木県に住んでいますので、仕事をする上で欠くことができないのは自動車の運転免許です。ですから、教習所に行ってよく勉強して運転免許を取るとよいとお話しました。ほかには、数学検定や言語力検定があることや、パソコンに関する検定は非常に役に立つのではないかとということもお話しました。

5. 子どもたちはとても勉強熱心ですので、「資格を取って、どのようにその資格を役立てたらよいのか」という質問もありました。私の答えは、資格を取るのは仕事をする上で欠くことができない第1歩であって、資格を取ったあとに最低でも10年間ぐらいはその資格を深めるために勉強していただきたいということです。例えば、大学の医学部を卒業し、国家試験に合格して医師免許を取りましたら、医師の資格を取ってから10年間ぐらいは医師としての勉強をもっともっと深めるといように、いろいろな勉強を深めることが大事かなと思います。
6. さらに、「会社のルールは何か」について質問がありました。私は、遅刻をしないで、始業時間の前に到着することが一番大事で、できれば5分～10分前に到着して、心を落ち着かせて仕事に就くことが大事だとお話をさせていただきました。そして、仕事の上では教科書はありませんので、いろいろな方のお話を聞いて、聞いた内容をメモにとることや、静かに人の話を聞くことが大事だということ。そのメモはとても大事ですので、繰り返し繰り返し読んでそれを身に付けるとよい仕事ができることもお伝えしました。そのほかに、ルールの中で一番大事なのは法律ですので、法律を守ることが一番大事だということや、法律に反した仕事はしてはいけないということもお伝えしました。
7. 「仕事をする上で大切なことは何ですか」という質問をしてくれた方もいました。私の答えは、一番大事なことは仕事上の約束ですので、約束を果たすことが大事だとお話しました。例えば、約束した時間に人と会おうと思ったら、がんばってその時間にたどり着くこと。それも大事な能力だと思います。また、仕事をする上で一番大変なことは、結果を出すことだと思います。計画を立ててもなかなか思うような結果が出ないことが多いです。しかし、一番大切なこと、また、大変なことは、結果を出すことだと思います。少し難しいですが、大変なことは結果を出し続けることです。1回だけ結果を出したのではなかなか信頼が得られない、次の仕事へ続きませんので、結果を出し続けることも仕事をする上で大切なことだと思います。
8. それから、「人の接し方について教えてください」と質問をしてくださいました。私の答えは、自分がされていやなことは相手にもしないということです。自分でもなかなかできませんが、できればレディーファーストや障害のある方への配慮をすることが大事かなと思います。ヨーロッパに行きますと、必ず女性の方に先に通っていただいたり、乗っていただいたり、降りていただいたりということが普通にありますので、そのようなことも必要かなと思いました。これは仕事とは関係ありませんが、大事なことだと思いお話ししました。
9. 「どうしたら楽しく仕事ができますか」という質問もありました。それに対しては、自分よりも優れている人とたくさん会うことだと私は答えました。たくさん会って、その人みたいになりたいなと思って仕事をするとうれしくなること。また、1人だと苦しいこともありますので、励まし合う仲間を1人でも持つこと。1人でも多く励まし合う仲間を持って、お互いに励まし合って仕事をするとうれしくできるのではないかとお話ししました。

10. 「どうしたら会話が盛り上がりますか」という質問に対しては、本や新聞をよく読むこと。また、この CRT 栃木放送など、ラジオやテレビのためになる大切な番組をよく聞いたり見たりして、世の中のことをよく知ること。よく知って自分の力で考えることが大事だと答えました。

最後は、「人前に立ってスピーチをすることが苦手なのですが、上がらないようにするにはどうしたらよいですか。上手に話す方法を教えてください」という質問でした。私も上手くできませんが、予めテーマに沿ったメモを作っておいて、話す前にメモの内容を頭に入れてゆっくりとお話すると、話をするのが上手くなって、苦手でなくなり、上がらなくなるのではないかとご返事をさせてもらいました。

11. このような内容で、6月4日(火)に東京都の墨田区立両国中学校で「職業人の講話の会」という中学2年生の授業にお招きをいただき、社会人の立場でお話をさせていただきました。皆さんも、ぜひ小学生・中学生・高校生に仕事のお話をしていただければと思います。

*当日の講義資料を掲載しますので、是非、お読みください。

— 2013年9月11日林明夫記 —